



# 旭中通信

練馬区立旭丘中学校  
学校通信 6月号  
令和4年6月1日発行

## 不屈の闘志を燃やした運動会



### 不屈の闘志

校長 渡邊 重幸

5月21日(土)、時折雨がそぼ降る中、令和4年度、第75回運動会を実施することができました。コロナ感染が収束せず、リバウンド警戒期間が22日までということもあり、今年度も制限した中での競技となりました。しかし、練馬区教育委員会の「改訂版感染予防のガイドライン」(第四改訂版)を基に感染防止を徹底し、昨年度よりは少し緩和された運動会となりました。すべての来賓の方をお呼びすることはできませんでしたが、学校評議員の皆様、町会長の皆様をお呼びして開催することができました。種目も女子1000m走、男子1500m走、全校で行う団体種目を1つ増やしました。久しぶりに紅白の団旗をもって入場行進も行いました。

そして、今年度も子供たちに団体種目、生徒会種目を考えてもらいました。1年、D組合同団体種目「TURN STICK FRIEND!」は昨年度の「旭丘タイフーン～嵐を巻き起こせ!～」、一昨年度の「TORNADISTANCE(トルネーディスタンス)」を改良したものです。3人の位置を固定し、リレー形式で行いました。3人の位置が固定されているので、コーンを回る時に遠心力が増し、いろいろ工夫された中での競技となりました。

2、3年団体種目「跳ぼうぜ!空まで!」は例年行っている大縄跳びを密を避けるようにし、3分割にして跳ぶことにしました。1グループ3分間で一番多かった連続回数を3グループ合計して勝敗を決めます。最初はすぐに足に引っ掛けていたのが、運動会前々日には、1グループで2年生が90回、3年生が88回も跳ぶことができました。そして、当日は、なんと3年生が106回も跳ぶことができました。改めて、「継続は力なり」を実感させられました。

現在記録	一グループ
3年	2年
88	90
回	回

生徒会種目も恒例となった「DRAW RACE(昨年度のそれ引け!くじびきレース)」は全学年で引いたくじに書いてあるアイテムを使って、リレー形式で行う競技でした。引いたくじによって時間に大きな差が生まれ、3年生が勝つとは限らない工夫された競技でした。生徒会本部役員がすべて進行し、見ている来賓や保護者、教職員も楽しませてもらいました。

3年生にとっては最後の運動会が、このように制限された中ではありましたが、スローガン「不屈の闘志」の通り、一人一人が最後まであきらめず精一杯努力していました。思い出に残る、素晴らしい運動会に感動しました。生徒の皆さん、ありがとう!

子供たちの頑張る姿をご覧いただくために、早朝よりご来校いただいた来賓の皆様、保護者の皆様、ご声援ありがとうございました。2種類のアメダスレーダーを参考に協議しながら進行了ましたが、結果的に生徒が雨の中での競技となり大変申し訳なく思っております。それでも、たくさんの皆様から感動する運動会だったとお声がけいただき、感謝しかありません。また、コロナ感染防止のため観戦いただけなかった地域の皆様にはご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。

< 入場行進 >



< 準備体操 >



< 100m走 >



< 1000m走 >



< 1500m走 >



< 50mハードル >



< サスケ >



< 1年全員リレー >



< 2・3年・D組全員リレー >



< 追っかけ綱引き >



< 追っかけ綱引き >



< TURN STICK FRIEND! >



< 跳ぼうぜ! 空まで! >



< DRAW RACE (生徒会) >



< DRAW RACE (生徒会) >



< 代表リレー >



< 宿泊行事のお知らせ >

< 3年生 A組・D組 修学旅行 >

1 日 時 6月6日(月) ~6月8日(水)  
2 場 所 奈良県・京都府



< D組 移動教室 >

1 日 時 6月15日(水) ~6月17日(金)  
2 場 所 長野県 武石方面